



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



3月、「第5回安全な登下校 PROJECT」実施！

－ Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) －

昨日より3月。いよいよあと一か月です。早いものです。3月1日は七十二候の「草木萌動(そうもくきざしうごく)」でした。陽気に誘われ草木が萌え出す頃ということです。春は確実に近づいています。昨日も青空が広がり、昼休み運動場では子供達が元気に駆け回る姿が見られました。

さて、一昨日(2月28日)の下校から「第5回安全な登下校 PROJECT」を実施しています。回を重ね今回で5回目となります。今回の目標は、①6年生は班長としての手本を示すこと、②5年生は来年度の為にそれをしっかりと見習うこと、③1年生から4年生までは、この4月に入ってくる新1年生の見本となるように安全な登下校の趣旨を理解し、班長に協力し、行動できることです。しかし、登下校における問題は残念ながら起こります。例えば、きちんと並んでくれない、歩くのが遅くなる、勝手に移動してしまう等、様々です。集団登校は私の子供の頃からありました。保護者の皆様はいかがでしたか。集団登校ではなかった、集団登校だった、下校時は集団下校ではなかった、集団下校だった等、その経験はその地域によって違ったことと思います。私の場合は、登校は集団登校、下校は集団下校ではありませんでした。保護者の皆様は、集団登校であり集団下校であった方が多いのではないのでしょうか。集団で登下校するのは、当然、子供達の安全確保の為です。交通安全、不審者への対応等、できるだけ児童の安全を守る為の対応です。しかし、その児童の安全を守る為の集団下校においてトラブルが起こることは大変残念なことです。「道草(みちくさ)」という言葉があります。「道草をして家に帰るのが遅くなった。」「道草しないで帰りましょう。」といった声が聞かれました。「道草」を辞書で

引くと「目的地へ行く途中で他の事に時間を使うこと。」とあります。今の子供達は下校時、安全の為、なかなか帰る途中、他のことで時間を使うことはできないと思います。それはそれで少し寂しい気もします。「道草」という言葉も小学校の登下校では使わなくなるかもしれませんね。少し話が逸れてしまいました。お許してください。実は、再来週の3月13日(月)、町別児童会で、新しい町班長・登校班長が決まり、令和5年度の各町の新体制が決まってきます。4月からは新1年生も入ってきます。当然、歩く速さが今までとは違ってきます。また、歩く距離も町により異なっています。長い距離もあれば短い距離もあります。そのあたりの微妙な変化は、当然、登下校の子供達の様子に影響を与えることとなります。今回の安全な登下校 PROJECT の目標は先述した通りです。子供達一人一人の交通安全についての安全意識の向上と登下校における登校班長としての役割と責任、班員として町班長への協力等、今一度、子供達へ自覚を促したいと考えています。子供達は、毎朝、決められた場所で班長を中心にきちんと振り返りができています。展示ホール前の表にきちんと記入できています。当然、慣れもあるかと思いますが、このことを真面目にきちんとできる登校班長は、大変立派です。そんなことで「あたり前」と思われる保護者の方もおられるかもしれません。でも、この「あたり前」のことを何事もないように毎日、きちんと行っていくことは結構難しいことでもあるのです。私達の何気ない日々の生活の中に、この「あたり前」は数多く存在しています。一度、このできて「あたり前」と思われることについて考え、「果たして、自分はできているかな？」と自問自答してみるのもいいのかもしれない。

新型コロナとインフルエンザの同時流行については、まだまだ心配な状況が続いております。子供達の体調管理がより必要な時期となっております。保護者の皆様のご理解とあたたかいご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。